

## 献 辞

曾我松男教授は、平成16年3月31日を以て名古屋外国語大学外国語学部日本語学科教授を退任されました。

同教授は、平成9年4月に「国際コミュニケーション研究科(修士課程)」の設置に伴い、名古屋外国語大学に就任されました。この大学院は外国語学部と国際経営学部との両者に共通の大学院として開設されたのですが、更に2年後の平成11年4月には、博士課程(後期)を開設し、同時に新しく、日本語学科もスタートしました。平成13年には留学生のための日本語教育センターが設立されました。曾我教授はそのいずれにも企画・立ち上げに指導力を発揮されました。特に新設の日本語学科には、退任なさるまで6年の長きにわたって、学科長として学科の発展のために尽力なさいました。

曾我先生のご専門は言語学、日本語学で、とくにテンス、アスペクト、モダリティーの領域で多数の学術論文を書いていらっしゃいます。また外国人のための日本語の教科書もいくつか出版されました。立派な研究者であり、教育にも情熱を持ち、多くの学生を育てられました。とくに多くの院生の指導に貢献なさいました。先生のリーダーシップは学科および大学院の発展に大きな足跡を残されました。

曾我先生と私はミシガン大学留学時代からの友人で、その後も先生とは多くの接点がありました。先生がブリティッシュ・コロンビア大学から南山大学に移られた時、私は隣接する名古屋大学におりましたし、名古屋外国語大学には同時に就任いたしました。ご縁があったわけです。

退任されるに当たり、多方面にわたるご貢献に対して、名誉教授の称号を受けられたことを記念して、本誌に同教授のお写真、年譜、著作目録を掲げ、長年のご実績とご足跡を称えたいと思います。曾我先生のご健康とご多幸を心からお祈り致します。

学科長としての曾我教授に敬意を表しながらも、友人としての感謝の意もお伝えしたいと思います。

平成17年 9 月29日

日本語学科教授

カッケンブッシュ知念寛子